

研究局より

■第56回 日本美術教育研究発表会2022 実施案内■

日本美術教育連合理事・研究局運営委員長 結城孝雄

- 開催日時：令和4（2022）年10月16日（日）9：00－15：00
- 会場：オンライン ZOOM 各設定Room内
- 参加費等：参加費500円（概要集代として）事前申込みは必要、会員以外の方でも参加できます。
『日本美術教育研究発表会2022 概要集』をオンラインで配付します。
- 主催：公益社団法人 日本美術教育連合
- 後援：文化庁

発表者の皆様へ

事前のテストRoom開設

- 事前の試験実施：令和4（2022）年月9日（日）10：00－11：00
各Room設定者（研究局 A－山田・B－小林・C－畑山・D－結城・E－岩崎）が設定したRoomにて
- 発表者ごとに各10分以内
- ◆音声テスト・プレゼンテーションテスト・通信量確認・カメラテストの実施
 - ◆配布資料があれば 配布テスト
 - ◆もし、日程が合わない場合は、発表者の別途対応いたします。
 - ◆発表者には 設定者からメールにて Accessコードの連絡を差し上げます。
 - ◆研究発表会当日、発表中にアクシデントが起き中断しましたら、予備室を用意しておりますので、再発表が可能です。主催者側と協議の上、スケジュールを決定します。
 - ◆研究発表会当日、投稿論文（12：20－12：50）についての説明会があります。必ず、ご参加ください。

参加者・発表者の皆様へ

- ◆研究発表会 参加予約
9月3日からPeatixにて 予約開始 先着順200名 オンライン決済 参加費 500円 領収書の有予約の際に 参加者・発表者皆様には、下記の信義則実行の内容を確認していただき、ご了承の上、ご参加ください。

セキュリティの確保

- アクセス情報を他者に知らせない・発表者の発表データを無断流出しない・参加者の肖像を無断流出させない。

参加者の信義則実行の原則

- Accessコードを他者に知らせない。
- 研究発表の発表資料を無断で画面から記録しない（発表者が許可する場合はこの限りではない）。
- 参加者の肖像を記録しない。
- 発表進行への協力。

発表者の著作権・肖像権の順守

- 発表者は、著作権を順守し、肖像権を尊重した発表を実施すること。
- そのために使用する画像、データ等、著作権・肖像権に抵触しないことを必ず事前に確認すること。参加に際しては、これを承認されたものとしたします。

- 参加者の皆様には、当日までにメールにて、各部屋のAccessコードをお知らせします。
- 開会式はD会場にて9：00より開会しますので、ご参加ください。
- 発表に際して、各会場に入室されましたら、チャットにお名前・所属、一言をお書きください。
- 発表中のチャットによるご質問は、随時ご記入ください。
- 各会場では、マイク・ビデオカメラをOFF（ミュート）の設定をしております。

第56回日本美術教育研究発表会2022 発表スケジュール 令和4年(2022)10月16日(日)

会場：ZOOM会議上 主催 公益社団法人 日本美術教育連合 後援 文化庁

9:00 9:15 移動 9:30	開会式 D会場				
9:30	A会場(理論等) 山田	B会場(実践小) 小林	C会場(実践中・大) 畑山	D会場(特支/幼) 結城	E会場(海外/実践高) 岩崎
9:30 9:55	A-1 戦後の美術科教科書における掲載作品の研究(23) -美術科教科書1956~2021年度1学年「見て表す」学習に関する考察- 元 宇都宮大学 山口 喜雄	B-1 造形活動におけるファッションの場の考察 東京家政大学 宮田みな美	C-1 中学校美術における概念教育と粘土を扱った授業実践 東京学芸大学教職大学院教育実践専門職高度化専攻 小島菜緒子	D-1 造形表現と 図画工作科の接続 いわき短期大学 松井 素子	E-1 チェコの高等学校における「kanji」創作の美術授業についての考察 -漢字の異文化を媒介する側面と造形的側面に着目して- 金沢学院大学 家崎 萌
10:10 10:35	A-2 絵画制作を起点とした探求学習との融合 -表現型探求プロジェクトの開発と実践- 奈良市立一条高等学校 佐藤 隼	B-2 カリキュラムを見直す教師の視点 -図画工作科における題材別アンケートの分析から- 立川市立新生小学校 宮崎 恒平	C-2 性を構成する要素である性表現に注目した美術科の授業実践の成果と課題 足利短期大学 茂木 克浩	D-2 幼児表現活動における「工芸の学習プログラム」の開発と実践 -伝統技法の体験学習「箸をつくる」の研究- 小田原短期大学 久保寺賀子	E-2 JICA海外協力隊の活動の検証と一考察 東京造形大学大学院 石田 恒平
10:35 10:55	休憩(20分)				
10:55 11:20	A-3 造形活動における快情動と触覚についての事例研究 東京学芸大学附属 小金井小学校 守屋 建	B-3 モジュール発表 小学校における芸術統合型学習の実践的考察 -フレスコ画の実践を通して- 大分大学 藤井 康子 大分大学 西口 宏泰 臼杵市立佐志生小学校 永松 芳恵	C-3 造形活動の教材づくりにおける学生の学び -自然材を用いた模擬保育の質的分析から- 中部学院大学短期大学部 小室 明久 東京学芸大学 竹 美咲	D-3 保育施設4・5歳児学級の幼児が描く発熱する自分 社会福祉法人橋会 御南まんまるこども園 横田 咲樹 岡山大学大学院 高橋 敏之	E-3 東山魁夷の『道』とホッペマの『ミッテルハルニスの並木道』の比較鑑賞 福島県立須賀川創英館 高等学校 西丸 純子
11:35 12:00	A-4 美術科教育における探究活動と思考ツールの事例 元 東京学芸大学 山田 一美		C-4 造形実験2021 -緊張感を考える- 埼玉大学教育学部 附属中学校 小西 悟士	D-4 保育園に設置したカメラとディスプレイを用いた遊具について 山形大学 具志堅裕介	E-4 表現の主題を探究する主観的ドローイングの実践 筑波大学 附属駒場中・高等学校 川人 武
12:00 13:30	論文投稿者説明会 12:20-12:50 昼食(12:00-13:30)				
13:30 13:55	A-5 「対話的な場」の形成に関する一考察 -一事象のフローにおける媒体性を視点として- 熊本大学 赤木 恭子	B-5 モジュール発表 小学校スタートカリキュラムにおける遊びの要素を活かした造形活動の実践と考察 鶴見大学短期大学部 鮫島 良一	C-5 中学校美術[共通事項]を実感的に身に付けるための共通領域「造形実験」について -小学校「造形遊び」を踏まえて- 東京都小笠原村立母島中学校 大黒 洋平 造形実験の理論-造形実験が生まれるまで- 武蔵野美術大学 三澤 一実	D-5 視覚障害のためのインクルーシブアート教材開発: アルチンボルドの絵画を「みたく」る鑑賞/表現題材 跡見学園女子大学 茂木 一司 長岡造形大学大学院 竹丸 草子 九州大学大学院 梶原 千恵 星美学園短期大学 大内 進 跡見学園女子大学 高橋 杏	E-5 高等学校美術科における彫刻題材「石膏でつくるオノマトペ」の実践 -造形的な見方・考え方と相互理解について- 東京学芸大学 横田 浩子
14:10 14:35	A-6 鑑賞活動を通して育成される創造的な技能に関する研究 東京学芸大学教職大学院 西村 德行			D-6 予備室	E-6 予備室
14:45 15:00	閉会式 D会場 閉会				

■第56号 日本美術教育研究論集 2023■

【投稿及び掲載要項】

研究論集編集委員長 立川 泰史

投 稿 要 項

- 投稿ならびに掲載の条件： 第56回日本美術教育研究発表会の発表者は『日本美術教育研究論集第56号』に投稿できます。投稿論文の研究論集への掲載は、次の(1)～(7)の条件を全て満たしたものに限り、
- (1)投稿原稿の題目ならびに内容が、研究発表会における発表内容と同じであること。
 - (2)投稿原稿の内容が、未発表かつオリジナルなものであること。
 - (3)投稿原稿の内容が、投稿された各群の内容として適合していること。
 - I群（理論・実践研究論文）…理論的・実践的な実証に基づいた独創的な知見を含む論文。
 - II群（実践研究報告等）…さまざまな教育現場におけるすぐれた実践を報告するもの。
 - III群（研究ノート）…将来の研究につながる問題の提起ならびに先行研究や事例の紹介。
 - (4)投稿原稿において、投稿規程にある書式、分量等が守られていること。
 - (5)掲載料を期日（2022年11月4日）までに納入していること。
 - (6)作品の図版や写真・VIDEO映像等の著作物を利用する場合及び写真等の肖像権は、必ず投稿者が事前に著作権者・出版社・所有者・本人もしくは保護者等の許諾を得ること。引用文献は、脚注等に「著者・著書名・発行所・出版年・頁」の順で出典を明記すること。
 - (7)研究論集編集委員会による総合審査において、投稿原稿の掲載が妥当と判断されること。
- 論文査読： I群（理論・実践研究論文）・II群（実践研究報告等）・III群（研究ノート）ともに複数の査読委員が査読を行い、編集委員会での審議を経て投稿原稿掲載の可否を決定します。掲載が決定した論文は、各主査がまとめて論評し、各論評を研究論集の〈論評の部〉に掲載します。
- 原稿書式： I群・II群・III群ともに、本文/図版（写真・表・図等）及び、I群のみ必須の「英文サマリー」を含め、下記の書式と文字数を守って下さい。
- 1頁分の基本書式は、A4横組2段組 23字×44行×2段組=2024字です。
- 題目（副題）、所属、氏名は、第1頁の1行目から2段取り（1段組に統合）で記載し、題目の英語表記・所属・氏名のローマ字表記も含めます。本文は10行目から2段組で書き始めます。
- 共通の項立て・見出しを用い、以下の番号と見出し語のみとします。
- 大項目 1. 2. 3. [全角数字] …、中項目 (1)(2)(3)…、小項目 ①②③…。
- 掲載料： I群・II群・III群ともに掲載料は、一般（給与を得ている内地留学生等を含む）15,000円、院生・学生8,000円です。
- 8頁（III群のみ6頁も可）を原則とし2頁増ごとに6,000円を加算し（奇数頁の場合も余白頁を含めて2頁増として計算）、10頁では一般21,000円、院生・学生14,000円です。
- 頁の上限は12頁で、一般27,000円、院生・学生20,000円です。
- カラーページは1頁につき12,500円を加算します。
- 抜き刷り（一律50部）は、8頁モノクロで7,000円です。2頁増ごとに2,000円を加算します。（抜き刷りのカラーページは、1頁ごとに2,000円を加算します。）
- 掲載料は下記口座に納入し、送金証明書（利用明細書のコピー等）を投稿論文に同封して下さい。
- 口座記号番号：00170-1-86036（右寄せで記入）郵便振込です。
- 加入者名：公益社団法人日本美術教育連合
- ご依頼人：〒郵便番号・住所・氏名・電話番号・所属機関
- 通信欄：例）掲載料15,000円（一般、8頁）+増頁分6,000円（2頁増の場合）=21,000円（計10頁）
- 「抜き刷り」を希望の場合は、その旨明記し、必要な金額を加算してください。
- ※査読の結果、掲載に至らない場合は、納入した掲載料の内5,000円（院生・学生3,000円）を引いた金額を返金します。

〈投稿原稿〉11/4（金）消印有効 レターパック・プラス（赤）

- 投稿メ切： 令和4（2022）年11月4日（金）消印有効。I群・II群・III群とも次の①～③をご提出ください。
- ①原稿（正1部と副3部、合計4部）、②投稿エントリーシート、
 - ③送金証明書（エントリーシートに貼付）
- 投稿原稿は、完全原稿とし、締め切り期日以降の差し替え・変更は認めません。ただし、研究論集編集委員会が修正を求めるときは、この限りではありません。発行日は、令和5（2023）年3月31日を予定しています。
- 〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1
東京家政大学 家政学部 児童教育学科 結城孝雄 宛
- 詳細連絡： 研究発表会当日に詳細を連絡します。口頭発表者は時程と場所を二次案内で確認して下さい。
- 問合せ先： 研究論集編集委員会 研究論集編集委員長 立川泰史：042-782-9811（代）
tachikawa@kasei-gakuin.ac.jp（東京家政学院大学）